

令和2年度高精度測位社会プロジェクト第2回検討会 次年度の取組について

国土交通省 不動産・建設経済局
情報活用推進課
令和3年3月15日

実施内容1 屋内空間情報インフラを活用したサービスの利活用検証

<背景>

- ・地理空間情報活用推進基本計画(平成29年3月閣議決定)におけるシンボルプロジェクトに位置づけ
- ・2020年東京オリ・パラ大会を円滑に開催するため、屋内や地下空間を含めた屋内外シームレスなナビゲーション等のサービス実現を目指す姿とし、高精度測位社会プロジェクトを実施

屋内空間における高精度測位環境づくりの促進

誰もが円滑に移動・活動できる社会を実現するため、屋内地図・測位環境等の空間情報インフラの整備・活用実証を行い、**東京オリ・パラ大会を契機に、多様な位置情報サービス等の創出に向けた環境づくりを推進**



<利活用検証概要>

外国人・障害者他多数の人々が東京に初来訪する**東京オリパラ大会開催期間にあわせ**、本プロジェクトで整備・公開中の屋内地図や屋内測位環境を含めた屋内空間情報インフラを活用し、東京駅周辺等主要な交通ターミナルをはじめとした屋内・地下空間において、**無償でバリアフリー情報や外国語対応も考慮した移動支援サービスを提供する民間サービス事業者を募集し**、サービスの効果や課題を抽出するための**利活用検証を実施**

- ✓ バリアフリー対応、多言語対応、屋内外シームレス対応、人流データ活用等のサービスを対象とする
- ✓ 既存、新規サービスともに対象とする
- ✓ 本プロジェクトで地図等整備した5地区以外の地域も対象とする
- ✓ 検証には多くのサービス利用者を獲得するため、極力露出に努める

利活用検証イメージ

＜バリアフリー対応＞

高齢者・障害者等に対しても
円滑に移動・活動できる
サービスの検証 等

バリアフリー
ルート案内



例えば、段差を回避した
経路案内機能、
音声案内機能 等

＜多言語対応＞

訪日外国人を対象とした
多言語での
経路案内機能の検証 等



想定スケジュール
(今後変更があり得る)

＜人流データ利活用＞

人流データを用いた
密の回避したルートでの
ナビ機能の検証 等



時期	内容
4月頃	民間サービス事業者募集
7月～9月頃	サービス提供
10月以降	検証

実施内容2 関連施策との連携

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会後は、バリアフリー、MaaS、観光等関連分野との連携を強化することで、屋内空間情報インフラを活用する民間サービスの創出を促進していく。

バリアフリー

- ・バリアフリーに関連するガイドラインへ屋内空間情報インフラを追記可能か調整中。次年度も引き続き調整を進める。
- ・バリアフリー対策支援の一環として、屋内空間情報インフラの整備が可能か調整中。次年度も引き続き調整を進める。
- ・歩行空間における自律移動支援事業との連携を強化。

MaaS

- ・「MaaS関連データの連携に関するガイドライン」の改訂にあわせ、屋内空間情報インフラ(各種ターミナル構内の電子地図、ビーコン等屋内測位情報)を追記するための調整を実施。次年度においても、連携可能な内容を模索し、連携を深めていく。

観光

- ・インバウンド対策支援の一環として、屋内空間情報インフラの整備が可能か調整中。次年度も引き続き調整を進める。

実施内容3 その他

● 「屋内地図整備・測位環境構築の手引き」とりまとめ

- ・実施内容1での検証結果、サービス提供事例、屋内外結節点設定に係る具体事例等を「手引き(案)」を反映させ、とりまとめ
- ・とりまとめ後は、屋内空間情報インフラの普及に向け、関連会議、G空間EXPO、HP等で周知

参加事業者
[A社]

対象地区	...
テーマ	...
効果・課題	...

< 利活用検証結果の反映 >



< 事例集の拡充 >

● G空間EXPOへの出展

- ・次年度も開催予定のG空間EXPOに出展し、次年度実施予定の利活用検証結果を含めた本プロジェクトの成果を積極的に周知

「EXPO2020、G空間を安心・安全の力に。」

G空間EXPO2020はオンラインで初開催!

開催(公開)期間: 11月24日(火) 10:00~12月27日(日) 17:00

動画や写真で地理空間情報にかかわる最新の技術や機器などを紹介します!
開催期間中にウェビナーも開催予定!

G空間EXPO公式サイト: www.g-expo.jp

G空間EXPO 検索



詳細は決定次第、上記HPやTwitter (@g_exp)にてお知らせします。
フォローをお願いします!